

令和8年度 仙台市一般監査実施計画

仙台市社会福祉法人・施設指導監査実施要綱（平成13年3月30日健康福祉局長決裁。以下「要綱」という。）
第5条の規定に基づき、保護施設に対する令和8年度一般監査実施計画を次のとおり定める。

1 基本方針

- (1) 令和8年度の一般監査は、次に掲げる事項を基本方針として実施する。
 - ① 関連法令、保護施設監査要綱等に基づく適切な入所者処遇の確保
 - ② 施設運営の適正実施の確保
- (2) 令和7年度の保護施設指導監査結果や厚生労働省からの通知等を踏まえ、2に掲げる事項については、重点的に指導する。

2 重点事項

令和7年度の保護施設指導監査結果、及び厚生労働省からの通知等を踏まえ、次に掲げる項目を重点事項とする。

(1) 入所者の自立支援の推進

- ① 個別支援計画について、入所者の意向やニーズ把握等が適切に行われているか。また、作成にあたり、実施機関と連携が図られているか。
- ② 居宅生活への移行や他法の専門的施設での受け入れについて検討されているか。
- ③ ①以外においても、実施機関や家族との連携が図られているか。
- ④ 入所者への虐待の防止について、適切に対応が行われているか。

(2) 施設運営の適正実施の確保

- ① 職員について、入所者処遇を図るための必要数を確保しているか。また、夜間における防災体制としての人員の配置及び災害時役割分担表の作成をする等、平時以外の人員体制の確保が図られているか。
- ② 職員の処遇について、適切な給与水準の確保、労働時間の短縮等労働条件の改善、研修等職員の資質向上、福利厚生等の充実、適切なハラスメント対策等が図られているか。
- ③ 本市の社会福祉施設等災害対応マニュアルの内容を踏まえ、防災対策の充実強化等が図られているか。また、適切で実現可能な事業継続計画（BCP）が策定されているか。
- ④ 感染症や食中毒に係る対策が徹底されているか。
- ⑤ 入所者からの預り金について、適切な管理が行われているか。
- ⑥ 適正な会計処理及び内部牽制体制が確立されているか。

3 監査方法

実地又は書面の手法により次の(1)～(4)に基づき実施する。

(1) 監査の実施体制

- ① 役割分担：保護施設の人事労務管理・経理を総務課が行い、入所者処遇を保護自立支援課が行う。
- ② 監査班：監査にあたる職員3名以上をもって編成し、そのうち1名は、原則係長級以上の職にあるものとする。
- ③ 事前打合せ：監査班において事前に提出資料を確認のうえ要点を整理し、重点的に監査を行う箇所や役割分担について事前打合せにより決定する。

(2) 監査資料の提出

監査の効率化を図る観点から、保護施設より事前に監査資料を提出させるものとする。

(3) チェックリスト

保護施設監査要綱に定める主眼事項及び着眼点について、チェックリストを作成・活用し、監査内容及びレベルの統一を図る。

(4) 監査結果の復命と改善状況の適正管理

監査終了後は要綱に基づき、速やかな監査結果の報告と指摘事項等の改善状況の適正な管理に努める。なお、保護施設の監査結果の復命・改善状況の管理は保護自立支援課で行うものとする。

4 監査日程

一般監査は、年間日程に記載のとおり、令和8年9月から10月に実施する。

5 監査実施数

保護施設2施設について実施する(実地監査1施設、書面監査1施設)。